

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・十分確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・小規模であるが複数での配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・トイレや別棟の移動については車イスでも可能・ ・階段や段差があり、改善・整備が必要。 ・階段については、その都度職員が付き添っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・事業の実施日には終礼でその日の内容について振り返り、夏期休暇などは総括する会議を開く。 ・担当者での策定会議を徹底する必要がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・夏期休暇時は終了後アンケート調査を行い、プログラム改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・今後、ホームページでの公開を予定している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後、第三者評価の受容を検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・全職員を対象とした専門研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・定期的に担当者会議を開きニーズ・課題を把握し計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・定期的に会議を開きプログラム行事について話し合いを行っている。 ・季節ごとのプログラムを導入している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・職員で課題を決めることもあるが利用者さんにも課題・目標を決めてもらう。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・習慣化されている体制の中で確認できている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日朝礼時に打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日終礼時に報告・確認を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・職員研修で勉強会を行っている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを行い、随時見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・学校（担任）によっては連携が取りづらい所もあり、全てというわけではないため今後の課題である。 ・家庭とは行っているが学校とは行っていない。（教育支援計画は参考にしている）
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、対象者がいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・現在、中高生が対象の為行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			A・B型事業所等他の福祉サービスへ移行される時は担当者会議に参加し情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			ボランティアを募集し、高校生等の交流がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・今後の課題であり、研修等に参加する必要がある。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に丁寧にわかりやすい説明を心掛けている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があればその都度助言、声掛けを行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在、該当するような会が存在しない。 ・今後、検討していく必要がある。

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・契約時に事前に伝えており、苦情があった場合も職員間で報告をし、迅速な対応に努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月、活動内容の案内文を配布している。 ・ブログを活用して、インターネットにより配信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・事前にブログ等に顔写真を掲載可能かのアンケートを取り管理を行っている。 ・個人の記録等は、しっかり整備し保管を行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・できるだけ単純化した方法で意思疎通できるよう工夫を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域の行事に積極的に参加するとともに地元の高校生のボランティアを受け入れている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・今後の課題である。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・事業所としては、年2回定期的に訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人研修で年1回は必ず行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットについての報告はその都度行っているが事例集の作成には至っていない。